

施策評価シート

令和 5 年度

総合 体系 計画	分野	5	第5章	ふるさとに愛着と誇りを持ち、魅力ある人と文化を育むまち	施策統括課	スポーツ振興課
	施策No.	5	施策名	誰もが親しめる市民スポーツの充実	課長名 (施策統括責任者)	江頭 和恵
	関係課	スポーツ振興課 国スポ・全障スポ総務課 国スポ・全障スポ競技課 学事課				

1. 施策の目標

めざす姿 (成果目標)	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている。
取組方針	市民のライフステージに応じた健康、体力づくりを進めるため、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに接することができる環境づくりに取り組みます。

2. 施策の意図と成果指標

対象（誰、何を対象としているのか）*人や自然資源等	市民						
意図（この施策によって対象をどう変えるのか）	市民誰もが、生涯を通じてスポーツに親しむことができ、いきいきと暮らしている。						
成果指標 A							単位
日常的に（週1回以上）運動・スポーツをしている市民の割合							%
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標	
50.6	52.1 54.8	53.6 50.8	55.2 50.0	56.8 50.6	58.4 0.0	60.0	
成果指標 B							単位
運動やスポーツが好きな小中学生の割合							%
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標	
88.3	89.4 89.1	91.6 -	92.7 85.8	92.7 88.0	93.8 0.0	95.0	
成果指標 C							単位
-							-
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
成果指標 D							単位
-							-
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	
成果指標 E							単位
-							-
H30 基準	R1 計画 実績	R2 計画 実績	R3 計画 実績	R4 計画 実績	R5 計画 実績	R6 目標	
0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0	

施策評価シート

3. 市民意向調査結果

施策の重要度	前回	今回	
重要である	24.5%	23.3%	↓
ある程度重要である	46.9%	48.5%	↑
あまり重要ではない	17.6%	16.3%	↓
重要ではない	3.0%	3.2%	↑
順位	36/36位	36/36位	⇒

施策の満足度	前回	今回	
満足している	4.8%	5.7%	↑
どちらかといえば満足	53.5%	50.8%	↓
どちらかといえば不満	19.8%	21.2%	↑
不満である	3.5%	3.6%	↑
順位	4/36位	5/36位	↓

4. 社会潮流等の変化について（第2次総合計画策定時からの市民ニーズの環境の変化、法整備状況等）

- 東京オリンピック・パラリンピック、SAGA国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催に伴うスポーツへの関心の高まり。
- アーバンスポーツへの関心の高まり（スケートボード、BMX、3×3バスケットボールなど）
- 佐賀バレーナースのB1昇格やサガン鳥栖などプロスポーツの活躍による関心の高まり。
- 中学校部活の地域移行など少子化に伴うスポーツに関する状況の変化。

5. 施策を推進していく上での新たな課題、新たな視点

- 高齢社会の進展、地域コミュニティの希薄化により、地域イベントや市民スポーツ大会等への参加者が減少している。
- 子どものスポーツ実施の二極化、運動実施率の低い世代など、スポーツに親しむ機会と環境の創出が不足している。
- 中学校部活動の地域移行について、受け皿となるスポーツ団体等が不足しており、各種団体との連携が求められている。
- アーバンスポーツを「する」環境（場所、競技に対する理解）が不足している。
- 老朽化したスポーツ施設の整備（更新、改修）や、学校体育施設との連携を強化する必要がある。

6. 施策の課題解決に向けた今後の取組の方向性・内容等

- 生涯スポーツ推進の核となるスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブなどと連携を強化し、地域住民が参加しやすいスポーツイベントを充実させる。
- まちづくり協議会（自治会、老人会、学校）などへの、ニュースポーツの出前講座を通して、スポーツによる地域振興を図る。
- 中学校部活動の地域移行をスムーズに進めるため、市スポーツ協会、関係競技団体等と情報を共有し、受け皿となる団体の確保に努める。
- スポーツ施設整備基本計画に基づいた施設整備を実施し、市民がスポーツに親しむことができる環境を整備する
- 新たに整備した富士しゃくなげ湖水上競技場などを活用した、キャンプや合宿を誘致し、地元とのスポーツ交流を行うことで、スポーツに対する意識の高揚を図る